

周年記念式典を開催しました

開校70周年 を迎えて

田無第一中学校 校長 山本一幸
昭和22年、三年制の新制中学校の発足とともに「東京都北多摩郡田無町立田無中学校」として開校しました。以来70年、名称と校舎の場所を変えながら、現在は「西東京市立田無第一中学校」として15,623人の卒業生を送り出してきました。

昨年11月2日(木)に市長をはじめ多数のご来賓の皆様をお迎えし、開校70周年記念式典を行いました。当日は厳粛な雰囲気の中、「大地讃頌」と、この日のために本校の職員が作詞した合唱曲「学び舎」を参列した3年生が見事に歌い上げ、感動的な式典となりました。

次の10年に向け、今後も伝統を大切に、地域の皆様の期待に応え、子どもたちの健やかな成長を目指して、一歩一歩教育活動を進めていきます。



生徒合唱の様子

開校70周年 を迎えて

保谷中学校 校長 大橋亮介
昨年11月10日(金)、市長をはじめ多数のご来賓の皆様をお迎えし、保谷中学校開校70周年記念式典を開催しました。保谷中学校は、昭和22年5月17日、保谷小学校高等科の建物を間借りして始まり、幾度かの移転の後、昭和43年、現在の地に鉄筋4階の校舎が建てられました。70年間におよび様々な社会状況の変化とともに、生徒、保護者、地域の皆様から信頼される学校を目指し、伝統的な校風である文武両道を基盤にした教育活動が長きにわたり実践されています。式典では、生徒の成長を、全員合唱と、号令をかけない自主的な礼儀作法で表現しました。保谷中学校は、これからも常に生徒の成長を願い、良き伝統を守りつつ、新しい試みに挑戦し、さらなる飛躍を目指す教育活動を推進、実践していきます。どうか、皆様方からのご支援、ご協力をこれからもよろしくお願い申し上げます。



全員合唱の様子

開校40周年 を迎えて

田無第四中学校 校長 大野雅生
昭和52年、田無第四中学校は旧田無市で4番目の中学校として誕生しました。開校当初から生徒達は自分達で学校を築いていこうという気持ちで学校生活に取り組んできました。文化祭と運動会は今も昔も学校行事の要です。生徒の学習成果の発表の場であり、四中生の団結力の源です。東北への修学旅行も10年以上続き、人と自然の温かさにふれる特色ある教育活動となっています。

昨年10月27日(金)に行われた記念式典では、市長をはじめ大勢のご来賓の方々をお迎えし、ご挨拶やご祝辞の中で本校の歴史を振り返ることができました。生徒代表による言葉とともに全校生徒で歌い上げた「百億の瞳」の迫力ある合唱に、盛大な拍手もいただきました。

これからも、上級生が下級生を引っ張る本校の伝統を引き継ぎながら、更なる田無四中の教育の充実に励んでまいります。



全校生徒による「百億の瞳」の合唱の様子

「対話による美術鑑賞」取組報告

小学校における「対話による美術鑑賞」事業は、昨年11月から2月までの間に、中原小学校、保谷小学校、東伏見小学校で行いました。3月に行う谷戸小学校を最後に、今年度の9校での取組は全て終了します。1年を通して、児童の皆さんからたくさんの感想を聞くことができました。「美術作品の見方が変わった」「お友だちの話聞くことが面白かった」というような声が多く聞かれました。先生方からは「普段の授業では見られない児童の意外な一面を見ることができた」という感想などが寄せられました。



「対話による美術鑑賞」は、誰もが気軽にアートを楽しむことのできるツールです。市民ボランティアチームの「アートみえる(通称:みえるさん)」が、多くの皆様を知っていただくために、市内のイベントなどでも「対話による美術鑑賞」を実施しています。市民文化祭では、体験した方から「西東京市の文化教養度を高めてくれてありがとう」と嬉しいお言葉をいただきました。また、西東京わいわいネットが公民館で行っている「わいわいクッキング」では、クッキング後に皆で一緒にアートを楽しみました。

今後も、「対話による美術鑑賞」を通して、まち全体の文化芸術活動を支えていきたいと考えています。



成人式が行われました

1月8日(月・祝)保谷こもれびホールにおいて、平成30年西東京市成人式が行われました。

当日は、第1回632人、第2回606人、計1,238人の新成人が参加しました。

式典前のアトラクションでは恩師からのメッセージビデオの上映や、保谷和太鼓会若鷹による盛大な演奏がありました。式典では新成人の代表の方々が未来への抱負や夢を述べました。

また、会場周辺では久しぶりの旧友との再会を懐かしむ場面が多く見られました。

◆社会教育課 042-438-4079

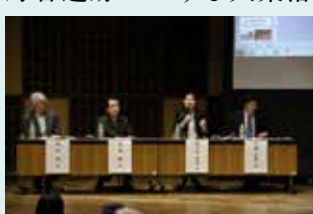
◆生活文化スポーツ部文化振興課 042-438-4040

下野谷遺跡関連事業の報告&ご案内

シンポジウムを開催しました

2月10日(土)保谷こもれびホールにて、第3回下野谷遺跡国史跡指定記念シンポジウム「えっ! マメとエゴマでヘルシーライフ!? ~土器のくぼみから知る縄文時代の食生活~」を開催しました。

今回は、縄文時代の植物利用に関する最新の研究成果の講演や、下野谷遺跡の新知見の報告がなされました。縄文時代にも植物の管理・栽培が行われ、下野谷遺跡のような大集落が維持されていた可能性がみえてきました。



また、市民・学生・研究者・行政の合同チーム「下野谷庄痕倶楽部」による土器片に残る圧痕(植物の種子などの痕)分析でマメやエゴマが発見されるとの報告もあり、下野谷遺跡に暮らした縄文人の意外なヘルシーライフについて思いをめぐらすことができるシンポジウムとなりました。



東伏見駅周辺に縄文モニュメントを設置します!

東伏見には、今から4~5千年前の縄文時代の大集落跡である下野谷遺跡があります。東伏見を縄文のまちとしてPRするため、東伏見駅周辺に縄文モニュメントを設置します。

縄文土器や下野谷遺跡キャラクターしたのやムラの「しーた」と「のーや」などのモニュメントを東伏見駅北口側に1カ所、南口側に3カ所設置します。

設置にあたり、縄文モニュメントを皆様にお披露目する除幕式を行いますので、ぜひお越しください。

縄文モニュメント除幕式

日時 平成30年3月25日(日)午前10時から
場所 西武新宿線「東伏見駅」南口駅前広場



したのやムラの「しーた」と「のーや」
©T&K/西東京市

◆社会教育課 042-438-4079